

政 策 部

1. 部総括表

部名：政策部

(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1-1	政策課	9,265,947	9,248,093		17,854	
1-2	地域活力推進課	327,410	311,378		16,032	
1-3	予算課	68,488,537	67,736,186		752,351	
1-4	自治振興課	(20,098) 3,509,277	(18,023) 3,471,861		(2,075) 37,416	
1-5	水資源対策課	(569,826) 2,348,777	(569,826) 2,004,669	313,390	30,718	
1-6	統計調査課	317,532	309,696		7,836	
1-7	男女参画・県民活動課	133,333	127,259		6,074	
1-8	文化振興課	(25,000) 1,819,415	(25,000) 1,677,186	121,307	20,922	
1-9	瀬戸内国際芸術祭推進課	622,977	620,877		2,100	
1-10	デジタル戦略課	(100,000) 552,543	(95,147) 545,061		(4,853) 7,482	
1-11	情報システム課	884,839	838,966		45,873	
1-12	出納局	280,449	279,151		1,298	
1-13	議会事務局	1,122,082	1,111,093		10,989	
1-14	監査委員事務局	129,990	128,586		1,404	
	部計	(714,924) 89,803,108	(707,996) 88,410,062	434,697	(6,928) 958,349	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-1-1	東京事務所運営費	207,079	201,524		5,555	東京事務所の運営に要する経費 給料64,458、職員手当等57,273、 共済費27,503
1-1-2	政策立案推進事業	8,865,542	8,862,380		3,162	主要施策の成果の概要 (1-1-2)に記載
1-1-3	政策課運営費	138,411	138,209		202	政策課の運営に要する経費 給料65,464、職員手当等42,189、 共済費25,358
1-1-4	政策部運営事務費	11,768	9,198		2,570	政策部の運営に要する経費
1-1-5	大学生等奨学事業繰出金	43,147	36,782		6,365	主要施策の成果の概要 (1-1-5)に記載
	課計	9,265,947	9,248,093		17,854	

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：政策課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
政策課	(1) 15	2	(1) 17	全国知事会へ派遣1名
東京事務所	(7) 12	3	(7) 15	派遣職員7名
合計	(8) 27	5	(8) 32	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>政策立案推進事業（1－1－2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>「人生100年時代のフロンティア県」の実現をめざして、人口減少や中枢拠点機能の強化等、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、調査研究や各種取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 政策立案推進事業（8,847,465千円）</p> <p>①「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画推進事業等（4,791千円）</p> <p>有識者等との懇談会を開催し、施策評価の結果とともに、令和3年度からの県政運営の基本指針となる『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画の進捗状況について意見交換を行うとともに、県の主要事業を紹介する「香川県の主要事業のあらまし」の作成等を行った。</p> <p>また、昨今の社会経済情勢等の変化を踏まえ、全部局が県民目線に立って一体となって推進する視点で施策を再構築するため、現行総合計画の見直しに着手した。</p> <p>②SDGs普及促進事業（370千円）</p> <p>SDGsに積極的に取り組む県内事業者等の活動を「見える化」する本県独自の登録制度「かがわ地方創生SDGs登録制度」を創設し、県内におけるSDGsの普及促進を図った。</p> <p>③ふるさと想起・さぬきPR推進事業（14,297千円）</p> <p>ふるさと納税「ガンバレさぬき応援寄付」について、より効果的にPRするとともに、ふるさと香川への思いを喚起するきっかけとするため、寄付をいただいた方に対し、県産品等を贈呈した。</p> <p>④奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業（5,996千円）</p> <p>本県の産業を担う人材を確保するとともに、これらの者が県内に定着することを促進するため、大学生等を対象とした日本学生支援機構の無利子奨学金を活用して、その返還を支援する事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰り出した。</p>	<p>有識者等との懇談会での意見については、施策評価結果とあわせて、事務事業の見直しの参考とした。「香川県の主要事業のあらまし」については、東京・大阪事務所、県の出先機関等で配布し、県の事業に対する理解の促進と県の魅力のPRに役立てた。</p> <p>令和5年1月末に現行総合計画の見直しに係る骨子案を取りまとめ、有識者からの意見を伺うための懇談会を開催した。</p> <p>令和4年度に2回募集を行い、計105者を登録した。</p> <p>令和4年度「ガンバレさぬき応援寄付」受入実績は2,073件、31,388千円となった。</p> <p>返還支援の対象者の募集を行い、令和5年度に大学等へ進学・進級する29名について返還支援の対象者とした。</p> <p>また、令和4年度に支援条件を満たした対象者2名に対して奨学金特別会計から総額720千円の返還支援を実施した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>⑤東京讃岐会館等東京地区県有資産利活用推進等事業 (8,822,011千円)</p> <p>東京讃岐会館を含む三田小山町西地区において、第一種市街地再開発事業が進展しているのに併せて、東京地区における県有資産の有効な利活用を図るための取組み等を行った。</p> <p>(2) 広域自治体連携推進事業 (14,915千円)</p> <p>①県・市町広域連携推進事業 (505千円)</p> <p>人口減少が進む中、今後も県及び各市町が住民サービスを効果的・効率的に提供するとともに、新たな課題に対しても、より主体的に挑戦していけるよう、県と市町、市町間の柔軟な連携を推進するため、各市町や庁内各課から提案のあった広域連携テーマについて意見交換を行った。</p> <p>②地方分権改革推進事業等 (10,746千円)</p> <p>地方分権改革の推進を図るため、全国知事会や四国知事会等と連携した検討及び国への提案等を行った。</p> <p>③四国4県連携推進事業 (3,664千円)</p> <p>四国4県で、県境を越えた広域的課題に対応するとともに、地域の総合力の向上や行政としての効率的対応が期待できる交流・連携の取組みを推進した。</p>	<p>再開発組合から、権利変換に伴う金銭給付等の給付 (8,778,969千円) を受け、香川県産業基盤造成基金に積み立てた。</p> <p>また、権利床の活用方法の検討のため、周辺地域の基礎調査や運営手法の検討を行った。</p> <p>復興事前準備の検討や、地域連携P H R実現に向けた医療情報活用について、県内各市町などと意見交換等を実施した。</p> <p>地方分権改革について、本県から1件を提案するとともに、四国知事会を通じて四国各県と6件の共同提案を行った。</p> <p>「四国遍路の世界遺産登録の推進」ほか9事業について、4県が連携して実施した。</p>
<p>大学生等奨学事業 (1-1-5)</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>意欲や能力が高く、経済的な理由で修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることにより修学を容易にし、安心して子どもが育てられる環境づくりを進めるとともに、県内における優秀な人材の確保を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大学生等奨学事業 (36,782千円)</p> <p>大学生等への奨学金貸付事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰出し、同特別会計において、無利子奨学金の貸付を行った。</p> <p>貸付対象：県内に保護者が居住し、大学、高等専門学校(第4・5学年)又は専修学校(専門課程)等に在学する者で、意欲及び能力が高く、かつ、経済的な理由により修学することが困難の者</p> <p>貸付金額：144,126千円</p>	<p>令和4年度に新たに貸付けを開始した42名を加え、243名に無利子奨学金の貸付けを行った。</p> <p>また、621名から計108,148千円の返還があり、28名に対してUターン就職による返還額の一部免除(計23,040千円)を行った。</p>

2. 課総括表

課名：地域活力推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-2-1	政策立案推進事業	1,987	1,810		177	主要施策の成果の概要 (1-2-1)に記載
1-2-2	大学等魅力づくり支援事業	3,896	3,750		146	主要施策の成果の概要 (1-2-2)に記載
1-2-3	移住・定住促進事業	201,011	187,751		13,260	主要施策の成果の概要 (1-2-3)に記載
1-2-4	地域づくり推進事業	21,572	19,124		2,448	主要施策の成果の概要 (1-2-4)に記載
1-2-5	前向きに頑張る事業者を応援する総合補助事業	1,938	1,937		1	過年度に実施した補助事業に係る 国庫への返還に要する経費
1-2-6	地域活力推進課運営費	97,006	97,006			地域活力推進課職員の給与費等 給料47,731、手当等29,067 共済費19,343
	課計	327,410	311,378		16,032	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：地域活力推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
地域活力推進課	13	2	15	
合計	13	2	15	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																								
<p>政策立案推進事業（1-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 「第2期かがわ創生総合戦略」や香川県総合計画について、地域の産官学金労言等の有識者からの意見を求めるため、懇談会を開催したほか、企業版ふるさと納税による寄附を推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ創生総合戦略推進事業（160千円） 「第2期かがわ創生総合戦略推進懇談会」や「香川県総合計画の見直しに係る有識者懇談会」を開催し、県総合計画を県総合戦略としても位置付けることとする、総合計画の見直しの骨子案等について意見を求めた。</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税推進事業（1,650千円） 企業版ふるさと納税のマッチングサポート会社と企業紹介に関する契約を締結するなど、寄附受入額の増加に向けて取り組み、企業版ふるさと納税制度を活用した県外企業から本県への寄附を推進した。</p>	<p>「第2期かがわ創生総合戦略」基本目標と重要業績評価指標の達成状況を把握し、対策の効果を検証した。</p> <p>令和4年度の企業版ふるさと納税による寄附は、8件で54,762千円となった。（うち、マッチングサポート会社の活用による寄附受入れ1件10,000千円）</p>																								
<p>大学等魅力づくり支援事業（1-2-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内の大学等（大学・短期大学・高等専門学校）を基点に経済団体や自治体で組織する「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、人材の育成や定着、人材が活躍する場の形成に向けた各種の取り組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 大学等の強みを生かした地域を支える大学づくり支援事業（3,750千円） 大学等が経済団体や市町等と連携し、人材の育成や定着、人材が活躍する場の形成に向けて「大学・地域共創プラットフォーム香川」の各部会において情報共有や意見交換等を行い、県内大学等の情報を集約した「キャンパスガイド」の作成・配布や合同進学説明会の開催、業種別オンライン県内企業見学ツアー、対話を通じてアイデアを出し合うアイデアソンなどを実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>自県大学等進学者の割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 1043 1401 1200"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16.8</td> <td>17.4</td> <td>21.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学等における関係機関との連携協定締結数 (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 1323 1401 1480"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>313</td> <td>328</td> <td>423</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 1559 1401 1715"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.3</td> <td>42.2</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学等におけるリカレント講座の受講者数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="943 1839 1401 1995"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28~R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,185</td> <td>859</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	16.8	17.4	21.0	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	313	328	423	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	43.3	42.2	52.0	基準値 (H28~R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	1,185	859	1,200
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
16.8	17.4	21.0																							
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
313	328	423																							
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
43.3	42.2	52.0																							
基準値 (H28~R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																							
1,185	859	1,200																							

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																														
<p>移住・定住促進事業（1-2-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 大都市圏等からの移住・定住の促進を図るため、市町等と連携して、香川の魅力を積極的にPRするとともに、受入体制の整備・充実に向けた取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 市町連携等移住・定住促進事業（5,485千円） ①香川県移住・定住推進協議会事業（4,000千円） 市町との連携による移住フェアや、地域別に移住者交流会等を開催し、移住者が定住できる環境整備を図った。 ②四国4県等連携等移住促進事業（691千円） 香川の魅力を積極的にPRするため、近県と連携し、四国4県移住フェア等を開催した。</p> <p>(2) かがわ暮らし魅力発信事業（3,931千円） 移住専門誌や移住ポータルサイトなどを活用して、香川の魅力や生活情報、生活スタイルを全国に向けて広く発信するとともに、移住者同士の気軽な情報交換・相談の場として、SNS「かがわ暮らし応援の輪」の運営等を行った。</p> <p>(3) ワンストップ移住相談窓口サービス提供事業（27,148千円） 就職・移住支援センター、東京事務所、大阪事務所、ふるさと回帰支援センターに移住・交流コーディネーターを配置し、ワンストップで移住相談対応を行った。</p> <p>(4) 東京圏UJIターン就職等推進事業（14,503千円） 地方創性推進交付金を活用し、東京圏から本県に移住し、県内中小企業等に就職した者に対して、移住支援金を交付した。</p> <p>(5) 地域活性化UJIターン促進事業（39,631千円） ①大都市圏UJIターン転職相談事業・県外大学訪問及び父母会等連携事業（897千円） 東京・大阪において転職希望者や学生向けの相談会を開催するとともに、県内における保護者向けセミナーの開催などによる就職情報の提供を行った。 ②香川に帰ろう！協定大学Uターン就職促進事業（879千円） 就職支援協定締結校等の学生に向けて、Uターン就職したOB・OGが講演を行うシンポジウムを開催する等協定校との連携強化を図り、Uターン就職の促進に取り組んだ。 ③Uターン・県内就職促進情報発信・調査事業（4,415千円） 県外大学進学者のUターン就職と県内大学進学者の地元就職を促進するため、かがわ暮らしの魅力等を紹介するパンフレットを作成し、配布を希望する学生の実家に送付した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県人口（各年10月1日現在）（人）</p> <table border="1" data-bbox="938 315 1401 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>951,049</td> <td>933,757</td> <td>925千人</td> </tr> </tbody> </table> <p>人口の社会増減（暦年）（人）</p> <table border="1" data-bbox="938 533 1401 672"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲1,381</td> <td>▲430</td> <td>1,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>若者の社会増減（前年10月～当年9月）（人）</p> <table border="1" data-bbox="938 750 1401 889"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲1,810</td> <td>▲1,402</td> <td>251</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率（再掲）（%）</p> <table border="1" data-bbox="938 967 1401 1128"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.3</td> <td>42.2</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県外からの移住者数〔累計〕（人）</p> <table border="1" data-bbox="938 1193 1401 1355"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R3～R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,951</td> <td>2,499</td> <td>12,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>市町と連携した移住・定住促進の取組み等により、令和4年度の移住者数は2,499人となり、過去3番目に多い水準となった。</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	951,049	933,757	925千人	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	▲1,381	▲430	1,000人	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	▲1,810	▲1,402	251	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	43.3	42.2	52.0	基準値 (H28～R2)	実績値 (R4)	目標値 (R3～R7)	8,951	2,499	12,400
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																													
951,049	933,757	925千人																													
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																													
▲1,381	▲430	1,000人																													
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																													
▲1,810	▲1,402	251																													
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)																													
43.3	42.2	52.0																													
基準値 (H28～R2)	実績値 (R4)	目標値 (R3～R7)																													
8,951	2,499	12,400																													

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>④プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（33,440千円） 「プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営を公益財団法人かがわ産業支援財団へ委託し、県外の潜在的なUJIターン希望者等と地域企業の求人とのマッチングを促進した。</p> <p>(6) 香川に移住！民間賃貸住宅借上げ支援事業（28,125千円） 香川に移住し、民間賃貸住宅に居住する場合に、市町と連携し、家賃と礼金等の一部を助成した。</p> <p>(7) 空き家バンク運営事業（55,611千円） 空き家バンクへの登録を条件として、市町と連携し、空き家の改修・家財の処分費等に対して助成するとともに、空き家バンクへ登録する際に、建築士による無料の個別相談や現地確認、助言を行った。</p> <p>(8) 地方創生テレワークによる移住促進事業（13,317千円） ①地方創生テレワークによる移住促進事業（10,877千円） 市町や事業者等によるサテライトオフィス等の開設を支援するとともに、企業への情報発信を実施した。 ②お試しテレワーク移住助成事業（2,440千円） 東京圏及び大阪圏に在住する移住希望者に、本県でのお試しテレワークを体験してもらうため、旅費、宿泊費、施設利用料相当分に対する定額の助成等を行った。</p>	<p>プロフェッショナル人材戦略拠点における、民間の人材紹介事業者と連携した、企業訪問によるニーズの掘り起こしやマッチングの促進により、令和4年度の県外人材のマッチング成約件数は67件となった。</p> <p>移住希望者の住まいの確保を支援するため、関係機関と連携して、住まいに関する相談対応を総合的に行うことにより、空き家の成約件数（売買及び賃貸）は、平成30年度から令和4年度までの累計で2,102件となった。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>地域づくり推進事業（1-2-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 魅力ある地域づくりに向けて、地域住民等が主体となった地域づくり活動の推進に努めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 地域コミュニティ活性化支援事業（10,881千円） 個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域づくり団体が新たに取り組む魅力ある地域づくりに対して経費の一部を助成するとともに、地域づくり実践者等を対象とした研修会を開催した。 また、県の地域おこし協力隊が中心となって、県内で地域づくり活動に取り組む団体等の情報発信等を行った。</p> <p>(2) 市町地域づくりモデル事業（3,650千円） 地域活力の向上を図るため市町が取り組む先進的又はモデル的な事業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p>(3) 関係人口創出・拡大事業（356千円） 「関係人口」などの地域外の人材と連携した地域の受け皿づくりに係る勉強会を開催するとともに、「複業人材の活用」について理解を深めるためのセミナーや事業者との意見交換を行った。</p> <p>(4) 過疎地域対策事業（502千円） 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法により指定された市町における、地域資源を活用し過疎地域の持続的発展を図る取組みを支援した。</p> <p>(5) 離島活性化推進等事業（3,735千円） 各島の魅力を広く情報発信するフェアやワークショップを開催するとともに、離島情報誌へ県内離島でのテレワーク等に関する特集記事を掲載する等、積極的な情報発信を行った。</p>	<p>3. 指標 県内で活動する地域おこし協力隊員数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1401 512"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>58</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特別交付税ベースの人数</p> <p>地域運営組織の組織数 (組織)</p> <table border="1" data-bbox="943 633 1401 792"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83</td> <td>82</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	45	58	53	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	83	82	96
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
45	58	53											
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
83	82	96											

2. 課総括表

課名：予算課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-3-1	予算課運営費	175,092	171,390		3,702	予算課の運営に要する経費等 給料81,965、職員手当等51,935、 共済費33,165
1-3-2	予算調整事業費	7,378,517	7,377,771		746	予算調整にかかる事務等に要する 経費 基金積立金7,369,573
1-3-3	元金（公債費）	56,208,678	56,208,678			一般会計県債の償還元金
1-3-4	利子（公債費）	4,639,966	3,969,666		670,300	一般会計県債の利子及び一時借入 金の利子
1-3-5	公債諸費	36,284	8,681		27,603	県債の借入及び償還事務等に要す る経費
1-3-6	予備費	50,000			50,000	
	課計	68,488,537	67,736,186		752,351	

3. 職員数の状況（R5.3.31現在）

課名：予算課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
予算課	21		21	
合計	21		21	

2. 課総括表

課名：自治振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-4-1	小豆総合事務所運営費	(20,098) 86,241	(18,023) 92,764		(2,075) ▲ 6,523	小豆総合事務所の運営に要する経費 給料28,708、職員手当等22,259、共済費12,020
1-4-2	香川県権限移譲等交付金事業	77,894	77,811		83	県の権限の市町への移譲等に伴う交付金
1-4-3	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業	55,053	54,854		199	住民基本台帳ネットワークシステムの運営に要する経費
1-4-4	マイナンバーカード普及促進事業	2,125	2,047		78	主要施策の成果の概要(1-4-4)に記載
1-4-5	自治振興課運営費	237,771	237,771			自治振興課の運営に要する経費 給料106,906、職員手当等67,765、共済費37,900
1-4-6	市町職員研修費	10,293	10,293			市町職員の研修に要する経費
1-4-7	市町行財政税務連絡調整費	2,725	2,598		127	市町行財政等の連絡調整等に要する経費
1-4-8	市町振興費	1,621,115	1,618,622		2,493	主要施策の成果の概要(1-4-8)に記載
1-4-9	市町村振興宝くじ交付金	372,206	372,205		1	主要施策の成果の概要(1-4-9)に記載
1-4-10	選挙管理委員会費	34,683	33,977		706	県選挙管理委員会の運営に要する経費 給料15,800、職員手当等8,507、共済費5,813、委員報酬3,464
1-4-11	選挙啓発費	999	668		331	選挙常時啓発事業等の推進に要する経費
1-4-12	知事選挙費	350,287	348,642		1,645	知事選挙(令和4年8月28日執行)に要する経費
1-4-13	県議会議員選挙費	131,524	97,697		33,827	県議会議員選挙(令和5年4月9日執行)に要する経費
1-4-14	参議院議員選挙費	488,042	484,222		3,820	参議院議員選挙(令和4年7月10日執行)に要する経費
1-4-15	県議会議員補欠選挙費	38,319	37,690		629	県議会議員補欠選挙(令和4年8月28日執行)に要する経費
	課計	(20,098) 3,509,277	(18,023) 3,471,861		(2,075) 37,416	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：自治振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
自治振興課	[1] (16) 20	[6] 6	[7] (16) 26	市町派遣職員15名、選挙管理委員会事務局併任職員1名
小豆総合事務所総務課	[1] (2) 7	7	[1] (2) 14	
合計	[2] (18) 27	[6] 13	[8] (18) 40	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を () 外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>マイナンバーカード普及促進事業（1-4-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードが令和4年度末にはほぼ全県民に行き渡ることを目指し、マイナンバーカード普及促進の取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) マイナンバーカード普及促進事業（2,047千円） マイナンバーカードの交付申請を促す広報を実施するとともに、申請機会の拡大を図るため市町と合同で出張申請会場を設置した。</p>	<p>新聞広告による広報を実施したほか、市町と合同で県内3か所の大型商業施設に出張申請会場を設置したことにより、マイナンバーカードの交付枚数率の向上に寄与した。</p>
<p>市町振興費（1-4-8）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町が多岐にわたり行政需要に対応し、適切な財政運営ができるよう、法令等の解説、特定の課題解決に向けた助言、情報提供を行うとともに、地方創生に資する事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 県民生活支援事業（1,613,744千円） コロナ禍において物価高騰等に直面する県民に対する生活支援及び地域経済の活性化を目的に、マイナンバーカードを保有する県民に5,000円相当の県独自のマイナポイントを付与した。</p> <p>(2) 市町行財政運営費等（4,878千円） 市町の行財政、公営企業及び一部事務組合の連絡調整等を行った。</p>	<p>5,000円相当のマイナポイントを付与することにより、生活者支援や地域経済の活性化のみならず、キャッシュレス決済の利用促進やマイナンバーカードの普及促進に寄与した。</p> <p>市町の行財政運営は、適切に進められており、令和4年度普通会計決算における実質収支は全ての市町で黒字となる見込みである。</p>
<p>市町村振興宝くじ交付金（1-4-9）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ等）及び新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ等）の収益金等の全額372,205千円を、市町の財源等として活用するため（公財）香川県市町村振興協会に交付した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 収益金等の内訳 令和4年度収益金 358,415千円 令和3年度時効金 13,790千円</p> <p>(2) （公財）香川県市町村振興協会の事業 県からの交付金を受け入れ、市町が公共事業等を行うた</p>	<p>県から（公財）香川県市町村振興協会へ交付したサマージャンボ宝くじ収益金等235,333千円は市町への低利の地方債資金等として活用され、また、ハロウィンジャンボ宝くじ収益金等は全額136,872千円が市町に配分され、市町の一般財源として活用された。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>めの地方債資金等として活用したほか、市町に交付金として配分した。</p>	

2. 課総括表

課名：水資源対策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-5-1	水資源対策の推進	(569,826) 1,596,887	(569,826) 1,264,040	313,390	19,457	主要施策の成果の概要 (1-5-1)に記載
1-5-2	全国水利用動態調査費	675	675			国からの委託による水資源対策に関する資料の収集整理に要する経費
1-5-3	水資源対策課運営費	751,087	739,857		11,230	水資源対策課の運営等に要する経費 給料375,051、職員手当等232,441、共済費127,799
1-5-4	かがわ水循環社会形成事業	74	68		6	水の有効利用の促進と節水意識の高揚を図るための取組み検討に要する経費
1-5-5	水道法施行等指導事業	54	29		25	水道法施行等指導事務費
	課計	(569,826) 2,348,777	(569,826) 2,004,669	313,390	30,718	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：水資源対策課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
水資源対策課	9	(84) 1	(84) 10	香川県広域水道企業団派遣84名
合計	9	(84) 1	(84) 10	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>水資源対策の推進（1-5-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 安心して暮らせる水循環社会の確立をめざして安全な水の安定的供給に資する事業など総合的な水資源対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川用水水源の森保全事業（22,151千円） 香川用水の水源地域である吉野川上流域の森林の水源かん養機能を保持するため、高知県嶺北地域で行われた森林の除間伐等に対し助成した。</p> <p>(2) 香川用水の水源巡りの旅事業（3,031千円） 香川用水や水資源の重要性についての認識を深めるとともに、水源地域との交流を促進するため、中学1年生及び小学4年生が早明浦ダム等の香川用水関連施設を見学する学校行事等を支援した。</p> <p>(3) 水道施設整備事業（1,238,043千円） 老朽化した水道施設の更新・耐震化や渇水時の水道水源の確保など、香川県広域水道企業団が行う水道施設整備事業に対し助成を行った。 ①生活基盤施設耐震化等交付金事業（1,204,460千円） ②市町水道渇水対策事業（8,907千円） ③水道水源開発施設整備事業（24,676千円）</p> <p>(4) 節水型街づくり推進事業（815千円） 水の有効利用を図るため、要綱に基づき雑用水利用施設の設置指導を行うとともに、県民の節水意識を高めるため、節水型街づくり推進協議会を通じた各種啓発活動を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県内上水道施設（基幹的な水道管）の耐震管率（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1401 495"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R3)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.3</td> <td>24.7</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>普段の生活で節水している人の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 616 1401 757"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80.6</td> <td>85.1</td> <td>84以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R元)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	23.3	24.7	33	基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	80.6	85.1	84以上
基準値 (R元)	実績値 (R3)	目標値 (R7)											
23.3	24.7	33											
基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
80.6	85.1	84以上											

2. 課総括表

課名：統計調査課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-6-1	統計調査総務費	179,692	177,797		1,895	統計専任職員の給与費及び事務費等 給料90,805、職員手当等49,731、共済費29,383
1-6-2	人口経済統計費	118,302	114,673		3,629	総務省所管基幹統計調査等に要する経費
1-6-3	労働統計費	15,505	14,951		554	厚生労働省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-4	教育統計費	1,023	506		517	文部科学省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-5	地方統計費	3,010	1,769		1,241	県単独調査、統計資料作成に要する経費
	課計	317,532	309,696		7,836	

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：統計調査課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
統計調査課	26	3	29	産前休暇1名
合計	26	3	29	

2. 課総括表

課名：男女参画・県民活動課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-7-1	共助の社会創造事業	57,258	53,431		3,827	主要施策の成果の概要 (1-7-1)に記載
1-7-2	男女参画・県民活動課運営費	46,902	46,299		603	男女参画・県民活動課の運営に要する経費 給料23,977、職員手当等13,618、共済費8,093
1-7-3	男女共同参画社会形成促進事業	11,510	10,983		527	主要施策の成果の概要 (1-7-3)に記載
1-7-4	女性活躍促進事業	17,663	16,546		1,117	主要施策の成果の概要 (1-7-4)に記載
	課計	133,333	127,259		6,074	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：男女参画・県民活動課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
男女参画・県民活動課	6	3	9	市町派遣職員1名
合計	6	3	9	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>共助の社会創造事業（1-7-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 地域団体活動やボランティア・NPO活動の促進、県民・NPOとの協働の推進、共助意識の啓発など、「共助の社会」の実現に向けての取組みを進めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 共助の社会きっかけづくり事業（67千円） ホームページ「かがわ共助のひろば」や総合受付窓口「NPOネットワークプラザ」の運営等により、ボランティアやNPOの活動情報等を収集・発信し、共助の社会づくりについて普及啓発事業を行った。</p> <p>(2) 共助の社会ひろがりづくり事業（49千円） NPOとの協働を推進するとともに、優れたボランティア活動に対する顕彰を行い、受賞活動を広く周知することで、県民活動のひろがりづくりを促進した。</p> <p>(3) NPO法人運営のためのステップアップ事業（326千円） NPO法人の運営を支援するため、相談窓口を開設し、さまざまな相談に対応するとともに、公認会計士等の派遣を行った。</p> <p>(4) 災害ボランティア等との連携強化事業（368千円） 南海トラフ地震や豪雨災害の発生が懸念される中、本県において県内外から参加する災害ボランティアが効率的かつ効果的に活動するため、行政、社会福祉協議会等関係機関と災害時の情報共有のための訓練を実施した。</p> <p>(5) NPO法人活動促進事業（152千円） ①NPO法人認証等事業 NPO法人の設立認証及び設立後の指導監督を行った。 ②認定NPO法人等認定等事業 「認定NPO法人」及び「特例認定NPO法人」の認定等に関する事務を行った。</p> <p>(6) NPO基金管理運営事業（52,469千円） 個人や企業からの寄附金を「香川県特定非営利活動促進基金（NPO基金）」に積み立て、これを財源としてNPO法人の活動資金を助成した。</p>	<p>3. 指標 認定（特例認定）特定非営利活動法人数（法人）</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1401 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボランティア大賞受賞者 一般部門 1個人 2団体 企業部門 1団体</p> <p>NPO等の相談窓口事業 17件 専門家派遣件数 2件</p> <p>参加者：香川県、各市町、香川県社会福祉協議会、各市町社会福祉協議会</p> <p>①NPO法人数（年度末） 398 法人</p> <p>②認定（特例認定）NPO法人数（年度末） 認定 7 法人 特例認定 1 法人</p> <p>基金登録団体数（年度末）91 団体 補助金額 ・団体指定寄附 6,563,401 円（6 団体） ・分野指定寄附 19,961,838 円（20 団体）</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	8	8	13
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
8	8	13					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>女性活躍促進事業（1－7－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 女性が活躍するために必要な情報を得られる環境をつくるとともに、セミナー等を開催して意識の啓発を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 情報発信事業（264 千円） 女性の活躍について情報を発信する特設ホームページ「かがわ女性の輝き応援団」において、県内女性の活躍に関する情報等の幅広い発信を行った。</p> <p>(2) 女性リーダー養成事業（1,216 千円） 政策・方針決定過程などさまざまな分野へ参画し、リーダーとして責任を果たせる人材を養成するため、「女性リーダー養成講座」として連続4回の講座等を実施した。</p> <p>(3) 男女共同参画協働事業（1,000 千円） 地域リーダー等の資質の向上を図るとともに、男女共同参画の視点からの課題解決に取り組むため、特定課題について、NPO、地域団体等から提案のあった事業を協働して実施した。</p> <p>(4) 未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ開催事業（1,899 千円） 次代を担う理工系女性人材の裾野の拡大を図るため、進路の選択を行う女子中高生を対象として、県内、県外及び海外で活躍している女性研究者等（ロールモデル）との交流会を Web 上の仮想空間であるメタバース空間を活用して開催した。</p> <p>(5) 性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」運営事業（12,167 千円） 女性の安全・安心対策を推進するため、性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」を運営した。</p>	<p>3. 指標 県の審議会等に占める女性委員の割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1412 515"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35.8</td> <td>37.4</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>女性リーダー養成事業参加者数 32人</p> <p>男女共同参画協働事業参加者数 413人</p> <p>参加申込者数 69人</p> <p>相談実績 相談件数 372件 付添支援 7件</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	35.8	37.4	40
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
35.8	37.4	40					

2. 課総括表

課名：文化振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-8-1	職員給与費 (文化振興課)	140,278	140,142		136	文化振興課職員の給与費 給料71,547、職員手当等43,056、 共済費25,539
1-8-2	文化芸術総務費	9,859	9,731		128	文化振興課の運営に要する経費
1-8-3	文化芸術活動振 興事業	(25,000) 37,948	(25,000) 36,362		1,586	主要施策の成果の概要 (1-8-3)に記載
1-8-4	藝大連携美術展 開催事業	3,558	3,556		2	主要施策の成果の概要 (1-8-4)に記載
1-8-5	さぬき映画祭事 業	11,000	6,129		4,871	主要施策の成果の概要 (1-8-5)に記載
1-8-6	県民ホール事業	426,184	332,719	91,437	2,028	主要施策の成果の概要 (1-8-6)に記載
1-8-7	県立ミュージア ム事業	523,330	484,922	29,870	8,538	主要施策の成果の概要 (1-8-7)に記載
1-8-8	東山魁夷せとう ち美術館事業	69,776	69,165		611	東山魁夷せとうち美術館の運営等 に要する経費 給料13,040、職員 手当等7,836、共済費4,764
1-8-9	漆芸研究所事業	76,686	75,479		1,207	漆芸研究所の運営等に要する経費 給料21,018、職員手当等11,042、 共済費6,588
1-8-10	香川漆芸活性化 推進事業	12,639	12,387		252	主要施策の成果の概要 (1-8-10)に記載
1-8-11	世界遺産登録推 進事業	6,157	4,594		1,563	主要施策の成果の概要 (1-8-11)に記載
1-8-12	新しい生活様式 のもと頑張る文化 芸術活動支援事業	2,000	2,000			主要施策の成果の概要 (1-8-12)に記載
1-8-13	香川県文化芸術 振興基金事業	500,000	500,000			文化芸術の振興のための財源を確 保するため、香川県文化芸術振興 基金へ積み立てるもの
	課計	(25,000) 1,819,415	(25,000) 1,677,186			
				121,307	20,922	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：文化振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
文化振興課	(1) 18	2	(1) 20	
県立ミュージアム	(4) 24	[2] (1) 10	[2] (5) 34	育児休業1名
東山魁夷せとうち美術館	[1] 3	1	[1] 4	
漆芸研究所	[3] 5	[1] (3) 13	[4] (3) 18	
合計	[4] (5) 50	[3] (4) 26	[7] (9) 76	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を〔〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>文化芸術活動振興事業（1－8－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 本県の文化芸術の振興を図るため、文化表彰等の事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 文化表彰事業等（11,362千円） 文化功労者2名、文化芸術選奨3名を表彰した。将来、県の文化芸術の振興に貢献することが期待される若手芸術家2名に文化芸術新人賞を授与するとともに、平成30年度、令和2・3年度受賞者による演奏会等を開催した。また、文化芸術振興審議会の開催等を行った。</p> <p>(2) 第5回高松国際ピアノコンクール開催支援事業 (25,000千円) 世界の優れた音楽家と触れ合うとともに、香川に新しい音楽文化を構築し、世界に発信するため、令和5年2月に開催された「第5回高松国際ピアノコンクール」を支援した。</p>	<p>文化芸術新人賞受賞者による演奏会等 ・平成30年度、令和2年度受賞者（音楽分野3名） 8月28日 レクザムホール・大ホール 入場者数 462人 11月20日 レクザムホール・小ホール 入場者数 358人 12月18日 レクザムホール・大ホール 入場者数 1,012人 ・令和2・3年度受賞者（美術分野2名） 2月4日～19日 香川県文化会館 入場者数 454人 2月4日 レクザムホール・小ホール 入場者数 108人 2月5日 イオンシネマ高松東 入場者数 63人</p> <p>26の国と地域から245名の応募があった。 (日本人130名、外国115名。うち、香川県出身者1名)</p>
<p>藝大連携美術展開催事業（1－8－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 東京藝術大学と連携した美術展覧会等を開催するほか文化芸術活動を通じて地域の活性化を担う人材の育成を図った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 藝大連携美術展開催事業（3,556千円） 東京藝術大学と連携し、「瀬戸内海分校プロジェクト」を開催した。これまでの美術展やワークショップの開催に加え、アーティストの制作活動等を通して、創造性を養う人材育成プログラムとして高校生らを対象に実施した。</p>	<p>開催日 リサーチ企画：8月22日～27日 ワークショップ：11月23日、12月3・4日 美術展「さとろうみ展」：12月16日～25日 (来場者数：531人)</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>さぬき映画祭事業（1-8-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 香川にゆかりのある映画の上映会や関連イベント、人材育成のための講座等を開催し、映画・映像による地域文化の振興と地域の活性化を図った。</p> <p>2. 具体的内容（6,129千円）</p> <p>(1) 映画祭2023の上映会及び関連イベントの開催 香川県出身の監督・俳優が制作・出演している作品や香川県でロケが行われた作品など、「さぬき」にこだわった作品上映や多彩なゲストを招いたゲストトークを実施した。</p> <p>(2) シナリオ講座 プロのシナリオライターや映画監督を講師として招き、シナリオ技術を学ぶ講座を実施した。</p> <p>(3) シナリオコンクール 映画化を前提としたシナリオ執筆者の裾野をより広げるため、香川県在住者もしくは出身者を対象としたシナリオコンクールを実施した。</p> <p>(4) 映画ゼミナール 映画・映像の魅力や楽しみ方、鑑賞のツボをわかりやすく紹介する講座を3回シリーズで開催した。また、講座の様子を収録したダイジェスト版を、公式ホームページでオンライン配信した。</p> <p>(5) 映画制作講座 映画監督を講師として招き、県内の高等学校放送部員が、創作テレビドラマの制作を実践的に学んだ。</p>	<p>効果・評価</p> <p>2月4・5日の2日間開催</p> <p>入場者数 1,343人</p> <p>上映作品数 12本</p> <p>シナリオ講座受講者数 23名 (全7回)</p> <p>シナリオコンクール応募数 30作品</p> <p>映画ゼミナール参加者数 延べ90名</p> <p>映画制作講座参加者数 4校 16名</p>						
<p>県民ホール事業（1-8-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民のニーズに沿った音楽や舞踊などの優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るため、県民ホールにおいて、文化事業を実施するとともに、同施設の管理運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県民ホール文化事業（20,543千円）</p> <p>①舞台芸術鑑賞事業 「かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（KJO）第21回定期演奏会」、「かがわ・F・チェンバーオーケストラ演奏会」、新創造舞台「さぬ</p>	<p>3. 指標</p> <p>かがわ文化芸術祭の参加団体数 〔累計〕 (団体)</p> <table border="1" data-bbox="938 1644 1414 1809"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2)</th> <th>実績値 (R3～4)</th> <th>目標値 (R3～7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>446</td> <td>162</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>①入場者数</p> <p>KJO定期演奏会 462人</p> <p>KFC演奏会 214人</p> <p>さぬきノスタルジア 375人</p>	基準値 (H28～R2)	実績値 (R3～4)	目標値 (R3～7)	446	162	500
基準値 (H28～R2)	実績値 (R3～4)	目標値 (R3～7)					
446	162	500					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>「きノスタルジア」の舞台芸術公演を開催した。</p> <p>②舞台芸術人材育成事業 ジュニア・オーケストラの育成を図るとともに、東京藝術大学連携事業「かがわ音楽アカデミー」のコンクールや公開講座、同大学の「早期教育プロジェクト in 香川」を実施し、県内の児童・生徒らが、国内外の第一線で活躍する指導者から直接指導を受ける貴重な機会を得た。</p> <p>(2) 県民ホール管理運営費 (239,000 千円) 指定管理者による施設の管理運営を行った。</p> <p>(3) 県民ホール舞台業務委託事業 (50,126 千円) 舞台芸術公演に際し効果的な演出を行うため、照明、音響、舞台機構等の舞台業務委託を行った。</p> <p>(4) 県民ホール施設改善費 (23,050 千円) 小ホール棟冷温水発生機更新、加圧給水ポンプ修繕等を行った。</p>	<p>②ジュニア・オーケストラ団員数 合奏コース 51 名 基礎コース 49 名</p>						
<p>県立ミュージアム事業 (1-8-7)</p> <p>1. 趣旨・概要 県立ミュージアムにおいて、大規模な展覧会を開催するなど、優れた美術作品や歴史的資料を鑑賞する機会の充実を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大規模展事業 (37,085 千円)</p> <p>① 「戦後デザイン運動の原点ーデザインコミッティーの人々とその軌跡」 ② 「せとうちの大気ー美術の視点」 ③ 「風景が物語る瀬戸内のカー自然・歴史・人の共鳴ー」</p> <p>(2) 瀬戸内国際芸術祭タイアップ事業 (822 千円) 瀬戸内国際芸術祭会期中に実施した夜間開館における来館者の対応を行った。</p> <p>(3) 展示企画費等 (13,946 千円) 第 68 回日本伝統工芸展や常設展を企画・開催した。</p> <p>(4) 教育普及、資料管理、調査研究事業等 (3,644 千円) 各種講演、ワークショップ等を実施した。</p> <p>(5) 職員給与費、会計年度任用職員人件費等 (204,916 千円)</p>	<p>3. 指標 県立文化施設*の特別展の入場者数 〔累計〕 (人)</p> <table border="1" data-bbox="938 1160 1410 1323"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28~R2)</th> <th>実績値 (R3~4)</th> <th>目標値 (R3~7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>227,718</td> <td>40,683</td> <td>240,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東山魁夷せとうち美術館も含む</p> <p>開催実績・入館者数</p> <p>① 4月9日～5月29日 5,423 人 ② 8月5日～9月4日 2,824 人 ③ 9月23日～11月6日 4,289 人</p>	基準値 (H28~R2)	実績値 (R3~4)	目標値 (R3~7)	227,718	40,683	240,000
基準値 (H28~R2)	実績値 (R3~4)	目標値 (R3~7)					
227,718	40,683	240,000					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>県立ミュージアム本館・瀬戸内海歴史民俗資料館の 人件費</p> <p>(6) その他管理費 (183,749 千円) 県立ミュージアムの管理運営を実施した。</p> <p>(7) 歴史民俗資料館運営事業 (15,516 千円) 瀬戸内海歴史民俗資料館において、資料収集、調査研究、教育普及などを実施した。</p> <p>(8) 文化会館運営事業 (19,667 千円) 文化会館において、文化芸術活動の場として広く利用できるよう管理運営を実施した。</p> <p>(9) 歴民俗文化財保存修復事業 (5,577 千円) 瀬戸内海歴史民俗資料館において、テグス行商船の保存修理を行った。</p>	
<p>香川漆芸活性化推進事業 (1-8-10)</p> <p>1. 趣旨・概要 香川漆芸のブランド化を図るため、情報発信や漆芸作品の販路拡大、若手漆芸作家の制作活動等の支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川漆芸魅力発信戦略事業 (12,387 千円)</p> <p>①漆芸アート魅力再発見事業</p> <p>(i) 情報発信事業 富裕層の購読者が多い雑誌「家庭画報」とのタイアップにより、人間国宝の香川漆芸作家とスイスの高級腕時計ブランド「フランク ミュラー」とのコラボ企画において、文字盤を漆で加飾した腕時計を制作し、都内のショップで販売した。</p> <p>(ii) 漆芸作品販売拠点整備事業 毎年3月に開催されている国内最大級のアートの見本市「アートフェア東京2023」に、漆芸研究所のブースを出展し、香川漆芸のPRを行うとともに、若手漆芸作家が出展・販売を行った。また、県内においても栗林庵や文化会館の漆芸コーナーで若手漆芸作家の作品を展示販売した。</p> <p>(iii) 漆芸研究所修了作品貸出事業 漆芸研究所が所有する修了作品を、本県にゆかりのある県内外の企業・団体に対し、一定期間無償で貸出し、展示してもらうことにより、より多くの方に香川漆芸の魅力を知っていただく機会を創出した。</p>	<p>県内外での香川漆芸の認知度向上、ブランド力の強化に繋がった。</p> <p>(i) 「家庭画報」の情報発信力、フランク ミュラーのブランド力の相乗効果で、「香川漆芸」の魅力を効果的にPRできた。</p> <p>(ii) アートフェア東京2023 出品者 若手漆芸作家2名 来場者 4,235人</p> <p>(iii) 修了作品貸出実績 貸出先数 18の企業・団体 貸出点数 41点</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>②「漆の家」プロジェクト事業</p> <p>第1回の瀬戸内国際芸術祭から男木島にある「漆の家」の展示を、芸術祭2022においても行った。「漆の家」を公開するとともに、来場者に対し、香川漆芸の解説やワークショップ等を行うことにより、香川漆芸の情報発信を行った。</p>							
<p>世界遺産登録推進事業（1-8-11）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>四国遍路の世界遺産登録に向けて、札所寺院の史跡指定のための詳細調査を実施するとともに、所有者や関係市町と調整を行い、史跡指定の準備を進めたほか、地域コミュニティの参画を促すための取組みなどを実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 世界遺産登録推進事業（4,594千円）</p> <p>①札所寺院・遍路道調査事業</p> <p>八栗寺の詳細調査を実施し、史跡指定に向けての資料を収集するとともに、金倉寺（第2・3分冊）の調査報告書を刊行した。</p> <p>また、本山寺や志度寺の詳細調査の成果を地域の方々にわかりやすく説明するため、地域住民等を対象に調査報告会を、地元小学生に見学授業を開催したほか、善通寺市で四国遍路を生かしたまちづくりのヒントを学ぶための講座を開催した。</p> <p>四国遍路世界遺産登録推進協議会の取組みとして、「普遍的価値の証明」部会において、研究会や検討会を開催し、様々な分野の専門家を交えて、四国遍路の価値や構成資産を検討したほか、「資産の保護措置」部会において、重要文化的景観の保護手法等について検討を行うなど、課題解決に向けた取組みを進めた。</p> <p>②日本遺産登録推進事業</p> <p>日本遺産に認定されている「四国遍路」をPRするため、10月29・30日に山口県下関市、福岡県北九州市で開催された日本遺産サミットに出展するとともに、県内の日本遺産に認定された市町に対し、補助事業や情報発信に対する助言などの支援を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>札所寺院および遍路道の保護措置数 (か所)</p> <table border="1" data-bbox="938 658 1410 815"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>①調査報告会参加者数</p> <p>本山寺 41人 志度寺 51人 見学授業参加児童数 本山寺 22人（本山小学校6年） 志度寺 75人（志度小学校6年） まちづくり講座参加者数 95人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	8	9	19
基準値 (R2)	実績値 (R4)	目標値 (R7)					
8	9	19					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 (1-8-12)</p> <p>1. 趣旨・概要 新しい生活様式のもと、県内で行われる文化芸術活動を支援した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 (2,000千円) 地域の文化芸術団体の活動再開等を支援するため、補助金を交付した。</p>	<p>交付実績 29件</p>

2. 課総括表

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-9-1	職員給与費	151,304	150,821		483	瀬戸内国際芸術祭推進課職員の給与費等 給与費68,041、職員手当等46,982、共済費34,038、報酬1,685、旅費75
1-9-2	瀬戸内国際芸術祭推進総務費	8,100	7,455		645	瀬戸内国際芸術祭推進課の運営に要する経費
1-9-3	瀬戸内国際芸術祭推進事業	463,573	462,601		972	主要事業の成果の概要(1-9-3)に記載
	課計	622,977	620,877		2,100	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
瀬戸内国際芸術祭推進課	14	2	16	
合計	14	2	16	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>瀬戸内国際芸術祭推進事業（1-9-3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>今回で5回目となる「瀬戸内国際芸術祭2022」を開催し、島々の活性化や交流人口の増加、芸術文化によるにぎわいづくりを図るとともに、瀬戸内の魅力や「アートの香川」を発信した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 瀬戸内国際芸術祭推進事業（219,680千円）</p> <p>①アートプロジェクト・イベントの実施</p> <p>(i) 33の国と地域から188組の作家が参加し、作品数は213、イベント数は19となった。</p> <p>(ii) 「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」という観点から、様々なエリアで地域の自然や歴史、文化等に注目した作品やイベントを展開した。</p> <p>②広報活動の実施</p> <p>香川県・岡山県内や首都圏などを中心に活動を行った。コロナ禍での開催となり、海外からの来場が見込めなかったことから、国内（特に中国地方・四国地方）での活動に注力した。</p> <p>③受入態勢の整備</p> <p>芸術祭期間中の海上交通や島内交通について、関係事業者と調整のうえ、芸術祭への来場者の輸送力の確保に努めた。</p> <p>④オフィシャルツアー</p> <p>チャーター船やチャーターバス等を利用し、芸術祭の新規作品を中心に作品を鑑賞する11コースのツアーを実施した。また、香川県発着に加え、岡山県発着のコースを新設した。</p> <p>⑤チケット等の販売</p> <p>来場者へのサービスの向上を図るため、春・夏・秋会期を通して作品を鑑賞することができる「作品鑑賞パスポート」、新規に導入した1日又は2日間のみ有効な「デイチケット」、また新規に導入したチケットアプリ（瀬戸芸デジパス）で「デジタルパスポート」を販売したほか、芸術祭オフィシャルグッズの開発・販売を行った。</p> <p>⑥サポーターづくり</p> <p>前回に引き続き、ボランティアサポーター「こえび隊」が芸術祭の様々な活動を支えた。また、県内の企業や学校を中心とした団体が参加する「企業・団体ボランティアサポーター」が作品受付等の活動を行った。</p> <p>⑦新型コロナ対策</p> <p>「瀬戸内国際芸術祭2022新型コロナウイルス感染症</p>	<p>効果・評価</p> <p>①国内外から約72万人の来場があった。また、日本銀行高松支店と瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同して推計した県内における経済波及効果は、約103億円であった。</p> <p>④オフィシャルツアーの本数：167本 参加者：3,555人</p> <p>⑤作品鑑賞パスポートの販売実績：41,069枚（うち、約44%はデジタルパスポート） デイチケット販売実績：18,108枚</p> <p>⑥「こえび隊」と「企業・団体ボランティアサポーター」の活動に関わった人数：延べ5,417人</p> <p>⑦会期中に、会場の島での芸術祭関係のクラスターは確認されなかった。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>対策の指針」を策定し、飛沫の抑制や手洗い・消毒、換気など基本的な対策はもとより、検温及び体調確認、有症状者の発生時の対応など、島毎の実情に応じた対策を適切に行った。</p> <p>(2) 瀬戸内国際芸術祭関連事業 (242,922 千円)</p> <p>①瀬戸内国際芸術祭連携促進事業 芸術祭の来場者に、対象の観光スポット等を訪問し、その場で撮影した写真を Instagram に投稿していただく県内周遊事業 (ハッシュタグキャンペーン) を実施した。</p> <p>②瀬戸内国際芸術祭 2022 総合案内等事業 高松港に総合案内所を設置し、チケット等の販売をはじめ、来場者に対し総合的な案内を行うとともに、会場となる島々の港等に案内所を設置し、島内の作品やイベント、交通等の案内を行った。</p> <p>③瀬戸内国際芸術祭 2022 広報及びイベント運営事業 商業施設等と共同して、新規のツール (VR ゴーグル等) を活用した PR イベントを実施した。また、デジタルサイネージの制作を行い、高松空港・鉄道会社・丸の内商業ビル内などの民間商業施設で配信を行った。</p>	

2. 課総括表

課名：デジタル戦略課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-10-1	デジタル戦略課運営費	86,327	86,041		286	デジタル戦略課の運営に要する経費 給料43,120、職員手当等26,389、共済費16,532
1-10-2	官民連携DX推進事業	(100,000) 126,107	(95,147) 119,921		(4,853) 6,186	主要施策の成果の概要(1-10-2)に記載
1-10-3	情報通信関連産業育成・誘致事業	61,218	61,113		105	主要施策の成果の概要(1-10-3)に記載
1-10-4	情報通信交流館維持管理事業	249,604	249,215		389	e-とぴあ・かがわ(情報通信交流館)の運営管理に要する経費
1-10-5	公的個人認証サービス運営等事業	25,856	25,856			主要施策の成果の概要(1-10-5)に記載
1-10-6	地域高度情報化促進事業	965	941		24	地域情報化推進に要する経費
1-10-7	オープンデータ推進事業	1,140	1,139		1	オープンデータカタログサイト運用に関する経費
1-10-8	公衆無線LAN環境整備促進事業	1,326	835		491	主要施策の成果の概要(1-10-8)に記載
	課計	(100,000) 552,543	(95,147) 545,061		(4,853) 7,482	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：デジタル戦略課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
デジタル戦略課	11		11	
合計	11		11	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>官民連携DX推進事業（1－10－2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>令和3年12月に策定した「かがわデジタル化推進戦略」の進め方である「共創」と「創発」により、県・市町・民間事業者が集い、交わり、共創する「かがわDX Lab」を本格稼働させるとともに、地域課題解決のための実証実験等の検討を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 官民連携DX推進ナビゲート事業（7,017千円）</p> <p>「かがわDX Lab」の取組みを進めるにあたり、デジタルトランスフォーメーション（DX）に関し専門的知見を持つ外部人材を「かがわDX Labフェロー」（県CDO補佐官と兼務）として登用。</p> <p>また、県・市町の職員を対象に、データ利活用による課題解決プロセスを体験することを通じて政策立案を行う能力を育成するための「データアカデミー」を開催した。</p> <p>(2) 官民連携DX推進トライアル事業（1,838千円）</p> <p>県と市町職員が地域課題等について議論を深めるとともに、デジタル社会の基盤となる「マイナンバーカード」の使い道をテーマに、全国から幅広いサービスの提案を募集する「マイナちゃんピオンシップ・かがわ2022 -マイナンバーカード利活用アクセラレーションプログラム-」を開催し、そのうち優秀なサービス6件について、サービスの実現に向けた検討を行った。</p> <p>(3) 「かがわDX Lab」整備事業（110,560千円）</p> <p>デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、官民連携の中でデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する拠点となる「かがわDX Lab」の整備等を行った。</p> <p>(4) デジタル化推進事業（506千円）</p> <p>「かがわデジタル化推進戦略」を着実に進めるとともに、自動運転・5G・インターネット仮想空間（メタバース）等、先端技術の利活用の推進について検討した。</p>	<p>受講者数延べ 96名</p> <p>応募エントリー件数 24件</p> <p>整備場所 サンポート高松シンボルタワー3階 「かがわプラザ」内</p> <p>自動運転ワーキンググループ 参加：33名 5Gに関する勉強会 参加：36名 メタバースに関する勉強会 参加：26名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>情報通信関連産業育成・誘致事業（1－10－3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>人材交流・ビジネスモデル創出のオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」を中心に人材育成事業を実施するとともに、拠点に集う多様な人材の交流、起業相談やビジネスマッチング支援の実施などを通じて、情報通信関連産業の育成・誘致に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 情報通信関連人材育成事業（32,828千円）</p> <p>①アプリ開発等人材養成講座 アプリ等の開発に必要なとなるプログラミングスキルを短期集中的に習得する講座を実施した。</p> <p>②Webクリエイター養成講座 Web制作やマーケティング、動画編集等に関するスキルを習得する講座を実施した。</p> <p>③デジタル社会の未来セミナー デジタル社会の実現に向けて先端技術を幅広く情報収集する機会として、セミナーを実施した。</p> <p>④アントレプレナーシップ養成事業 事業創造に必要な意識づけ・動機の可視化からビジネスモデル構築までを一体的に学ぶ講座を実施した。</p> <p>(2) 情報通信関連産業育成・誘致拠点運営事業 (28,285千円)</p> <p>①アドバイザーチーム拠点活動事業 県内外の情報通信関連分野で活躍する企業経営者や有識者19名から構成するアドバイザーチームを組成。拠点利用者のビジネスモデルの創出や課題解決につなげるため、定期的にあドバイザーを招きセミナーや個別メンタリングなどを実施した。</p> <p>②コーディネーター拠点支援事業 「Setouchi-i-Base」に専任のコーディネーターを配置し、拠点利用者からの相談への対応やビジネス化に向けた伴走支援、新たなネットワークづくり、情報発信などを行ったほか、拠点利用者による情報通信関連の技術やサービス、アイデアコンテストの開催などに取り組んだ。</p> <p>③戦略的情報発信事業 Setouchi-i-Baseポータルサイトの運用保守や、SNS広告を活用した広報活動などに取り組んだ。</p>	<p>①受講者数 15名</p> <p>②受講者数 26名</p> <p>③かがわ情報化推進協議会と連携し、計6回のセミナー等を開催 受講者数延べ332名(オンライン含む)</p> <p>④受講者数 14名</p> <p>②相談対応件数 個人 304件 法人等 113件 ネットワーク・情報発信イベント開催数 139回 参加者数 会場 910名 オンライン 8,038名</p> <p>③拠点利用者数 27,203名(累計) 「Setouchi-i-Base」ポータルサイトWeb会員数 1,847名(累計)</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>公的個人認証サービス運営等事業（1-10-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民や事業者が、電子申告や電子申請、公共施設予約をインターネットを通じて行えるよう公的個人認証サービスの提供を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 公的個人認証サービス運営事業（24,056千円） 電子申請や電子申告をする際に成りすましやデータの改ざんを防止し、厳格な本人確認を安価に行える公的個人認証サービスの運用管理を行った。</p> <p>(2) 地方公共団体情報システム機構負担金（1,800千円）</p>	
<p>公衆無線LAN環境整備促進事業（1-10-8）</p> <p>1. 趣旨・概要 公衆無線LAN環境の整備を促進するため、公衆無線LANの整備を行う市町及び民間事業者に対して、整備費の一部の補助を行った。</p> <p>2. 具体的内容（835千円） (1) 公衆無線LAN環境整備促進事業補助金 公衆無線LAN「かがわWi-Fi」スポット拡大のために、香川県公衆無線LAN環境整備促進事業補助金交付要綱を制定し、「かがわWi-Fi」の整備を行う市町及び民間事業者に対し、整備費の一部の補助を行った。</p> <p>(2) 宿泊施設における無線LAN環境整備事業補助金 宿泊施設における無線LAN環境の整備を促進するため、宿泊施設の無線LAN環境整備事業補助金交付要綱を制定し、事業者に対して整備費の一部の補助を行った。</p>	<p>無料Wi-Fiスポット数：2,132か所 (令和5年4月1日現在)</p>

2. 課総括表

課名：情報システム課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-11-1	情報システム課運営費	114,887	114,874		13	情報システム課の運営に要する経費 給料58,077、職員手当等34,665、共済費22,132
1-11-2	一般庁費等	3,517	3,517			集中管理特別会計(機械計算事務費) 繰出金
1-11-3	電子県庁推進事業	31,250	31,249		1	主要施策の成果の概要(1-11-3)に記載
1-11-4	行政情報化推進事業	5,896	4,602		1,294	行政情報化推進に要する経費
1-11-5	行政情報ネットワーク推進事業	97,040	94,214		2,826	行政情報ネットワーク推進事業費 映像情報システム運営事業費
1-11-6	情報システム推進事業	632,249	590,510		41,739	主要施策の成果の概要(1-11-6)に記載
	課計	884,839	838,966		45,873	

3. 職員数の状況 (R5. 3. 31現在)

課名：情報システム課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
情報システム課	[4] 18		[4] 18	
合計	[4] 18		[4] 18	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>電子県庁推進事業（1-11-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）総合行政ネットワーク参画事業（31,249千円） 国や全国の地方公共団体を接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行った。</p>	<p>国や全国の地方公共団体を接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用管理を行った。</p>
<p>情報システム推進事業（1-11-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 情報システムの適切な調達・運用を図るため、情報システムの調達審査を行うとともに、セキュリティにも留意して基幹系情報システム等の運用を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）情報システム推進事業（590,510千円）</p> <p>①情報システム等の審査 情報システム等審査委員会において、予算要求時審査を130件、調達開始前審査を69件実施した。</p> <p>②基幹系情報システムの運用等 財務会計、給与、電子入札等の基幹系情報システムの運用を行った。</p> <p>③高度な情報セキュリティ対策の実施 情報セキュリティ強化のために構築した庁内システムの運用を行うとともに、県内市町と共同で導入した自治体情報セキュリティクラウドの運用を行い、高度なセキュリティ対策を実施した。</p> <p>④A I等の活用による業務効率化推進事業 庁内の業務についてRPAやA I-OCR等を利用して自動化・効率化を推進した。</p> <p>⑤オンライン会議環境運用事業 県庁において、会議や研修等をオンラインで実施できる環境の運用を行った。</p>	<p>①情報システム等審査における情報システムの運用経費の削減額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算要求時審査：約3億3千万円（令和5年度予算要求ベース） ・調達開始前審査：約4億円（令和4年度分。長期契約における複数年度の削減額を含む。） <p>④A I等を活用した業務効率化により削減できた時間（推計） 7,498時間</p> <p>⑤オンライン会議の主催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ4,979回

2. 課総括表

課名：出納局

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-12-1	出納局運営費	56,410	55,155		1,255	出納局の運営に要する経費
1-12-2	給与費	224,039	223,996		43	出納局職員の給与費 給料117,408、職員手当等 65,138、共済費41,450
	課計	280,449	279,151		1,298	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：出納局

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
出納局	28	3	31	育児休業1名
合計	28	3	31	

2. 課総括表

課名：議会事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-11-1	県議会だより発行事業	798	797		1	県議会の広報誌を年5回発行する経費
1-11-2	県議会会議録情報発信事業	1,780	1,774		6	本会議及び委員会での質疑の記録を県議会のホームページ上に掲出する経費
1-11-3	本会議等中継発信事業	2,055	2,055			本会議及び委員会の映像を県議会ホームページ上で、インターネットを通じ配信する経費
1-11-4	県議会議員費	623,742	617,658		6,084	議員の報酬及び費用弁償並びに議員活動に必要な諸経費
1-11-5	政務活動費	141,600	141,600			議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として議員に交付する経費
1-11-6	議会事務局運営費	352,040	347,142		4,898	議会事務局の運営に要する経費 給料145,776、職員手当等85,996、共済費49,414
1-11-7	部局運営事務費	67	67			職員旅費など事務局運営に要する経費
	課計	1,122,082	1,111,093		10,989	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：議会事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
議会事務局	31	18	49	
合計	31	18	49	

2. 課総括表

課名：監査委員事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-14-1	監査委員費	20,272	19,923		349	監査委員の報酬等 委員報酬6,624、委員給与費 12,502、委員活動費797
1-14-2	監査委員事務局 運営費	109,718	108,663		1,055	監査委員事務局の運営に要する経 費 給料55,334、職員手当等 32,689、共済費18,696
	課計	129,990	128,586		1,404	

3. 職員数の状況 (R5.3.31現在)

課名：監査委員事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
監査委員事務局	12		12	
合計	12		12	